



敦賀港 鞠山防波堤の最終ケーソンを据え付けました

平成26年5月14日、敦賀港鞠山防波堤において先端部の最終ケーソンの据付を実施しました。当日は朝から海上も穏やかで、仮置きしていたケーソンを早朝より排水・浮上し、約1km離れた据付マウンドまで慎重に曳航した後、所定の位置に据え付けました。

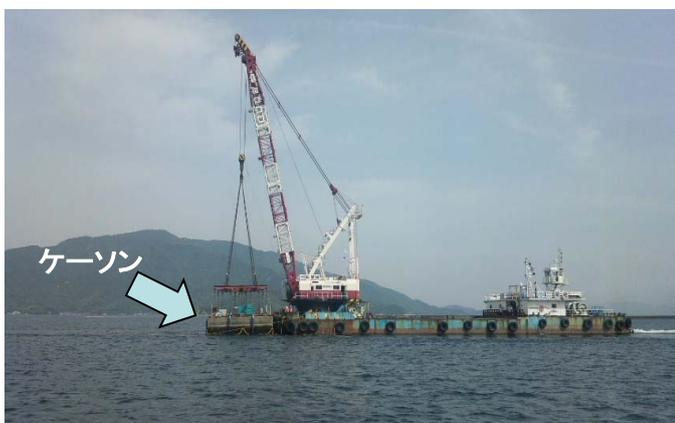
鞠山防波堤は、1981年（昭和56年度）に着工の後、約30年あまりかけて、このほど最終ケーソンの施工に至っています。

このケーソンは、長さ15.0m・幅13.6m・高さ15.6m・重さ1,790tで、平成23年度に防波堤基部で撤去したスリットケーソンを再利用したもので、この後、ケーソン内部をコンクリートブロック及び水中コンクリートで充填し、完成となります。

このケーソン据付によって鞠山防波堤の計画延長1,330mの最終端部が施工されたことになり、隣接する消波ブロック傾斜堤の施工を待って鞠山防波堤の全延長が完成することになります。

※ケーソンとは:

フランス語で「大きな箱」という意味です。鉄筋コンクリートで作った箱のもののことで、防波堤や岸壁として使用します。
詳しくは <http://www.tsuruga.pa.hrr.mlit.go.jp/node/163>



曳航中の最終ケーソン



ケーソン据付作業中



吊り下げられたケーソンの近影



据え付けた最終ケーソンより基部を望む